

【表紙】

【発行登録追補書類番号】4 - 投法人 1 - 1

【提出書類】発行登録追補書類

【提出先】関東財務局長

【提出日】2023年 3 月 1 日

【発行者名】コンフォリア・レジデンシャル投資法人

【代表者の役職氏名】執行役員 伊澤 毅洋

【本店の所在の場所】東京都渋谷区道玄坂一丁目21番 1 号

【事務連絡者氏名】東急不動産リート・マネジメント株式会社
コンフォリア運用本部 運用戦略部長 河内 大輔

【電話番号】03-6455-3388

【発行登録の対象とした募集内国投資証券に係る投資法人の名称】コンフォリア・レジデンシャル投資法人

【発行登録の対象とした募集内国投資証券の形態】投資法人債券（短期投資法人債を除く。）

【今回の募集金額】第12回無担保投資法人債 30億円

【発行登録書の内容】

（ 1 ）【提出日】2022年 4 月26日

（ 2 ）【効力発生日】2022年 5 月 9 日

（ 3 ）【有効期限】2024年 5 月 8 日

（ 4 ）【発行登録番号】4 - 投法人 1

（ 5 ）【発行予定額又は発行残高の上限】発行予定額 100,000百万円

【これまでの募集実績】

（発行予定額を記載した場合）

番号	提出年月日	募集金額（円）	減額による訂正年月日	減額金額（円）
-	-	-	-	-
実績合計額（円）		なし （なし）	減額総額（円）	なし

（注）実績合計額は、券面総額又は振替投資法人債の総額の合計額（下段（ ）書きは発行価額の総額の合計額）に基づき算出しています。

【残額】（発行予定額 - 実績合計額 - 減額総額）100,000百万円
（100,000百万円）

（注）残額は、券面総額又は振替投資法人債の総額の合計額（下段（ ）書きは発行価額の総額の合計額）に基づき算出しています。

（発行残高の上限を記載した場合）
該当事項はありません。

【残高】（発行残高の上限 - 実績合計額 + 償還総額 - 減額総額）- 円

【安定操作に関する事項】該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

第一部【証券情報】

第1【内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）】

該当事項はありません。

第2【新投資口予約権証券】

該当事項はありません。

第3【投資法人債券（短期投資法人債を除く。）】

（1）【銘柄】

コンフォリア・レジデンシャル投資法人第12回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（以下「本投資法人債」といいます。）

（2）【投資法人債券の形態等】

社債、株式等の振替に関する法律の適用

本投資法人債は、その全部について社債、株式等の振替に関する法律（平成13年法律第75号。その後の改正を含み、以下「社債等振替法」といいます。）第115条で準用する第66条第2号の定めに従い社債等振替法の規定の適用を受けることとする旨を定めた投資法人債であり、社債等振替法第115条で準用する第67条第1項の定めに従い投資法人債券を発行することができません。ただし、社債等振替法第115条で準用する第67条第2項に規定される場合には、本投資法人債の投資法人債権者（以下「本投資法人債権者」といいます。）はコンフォリア・レジデンシャル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）に投資法人債券を発行することを請求できます。この場合、投資法人債券の発行に要する費用は本投資法人の負担とします。かかる請求により発行する投資法人債券の形式は無記名式利札付に限り、本投資法人債権者は当該投資法人債券を記名式とすることを請求することはできないものとし、その分割又は併合は行いません。

信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付

本投資法人債について、本投資法人は株式会社日本格付研究所（以下「J C R」といいます。）からA A - の信用格付を2023年3月1日付で取得しています。

J C Rの信用格付は、格付対象となる債務について約定どおり履行される確実性の程度を等級をもって示すものです。

J C Rの信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJ C Rの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではありません。また、J C Rの信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではありません。J C Rの信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれません。

J C Rの信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動します。また、J C Rの信用格付の付与にあたり利用した情報は、J C Rが格付対象の発行体及び正確で信頼すべき情報源から入手したものです。当該情報には、人為的、機械的又はその他の理由により誤りが存在する可能性があります。

本投資法人債の申込期間中に本投資法人債に関してJ C Rが公表する情報へのリンク先は、J C Rのホームページ(<https://www.jcr.co.jp/>)の「ニュースリリース」右端「一覧を見る」をクリックして表示される「ニュースリリース」(<https://www.jcr.co.jp/release/>)に掲載されています。なお、システム障害等何らかの事情により情報を入手することができない可能性があります。その場合の連絡先は以下のとおりです。

J C R：電話番号03-3544-7013

（3）【券面総額】

本投資法人債についての投資法人債券は原則として発行しません。

なお、振替投資法人債の総額は金30億円です。

（4）【各投資法人債の金額】

金1億円

（５）【発行価額の総額】

金30億円

（６）【発行価格】

各投資法人債の金額100円につき金100円

（７）【利率】

年0.730パーセント

（８）【利払日及び利息支払の方法】

本投資法人債の利息は、払込期日の翌日（その日を含みます。）から別記「（９）償還期限及び償還の方法」記載の償還期日（その日を含みます。）までこれを付し、2023年９月８日を第１回の支払期日としてその日までの分を支払い、その後毎年３月８日及び９月８日にそれぞれその日までの前半か年分を支払います。ただし、半か年に満たない期間につき利息を計算するときは、その半か年間の日割でこれを計算します。利息を支払うべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げます。償還期日後は本投資法人債には利息を付しません。ただし、償還期日に弁済の提供がなされなかった場合には、当該元本について、償還期日の翌日（その日を含みます。）から、弁済の提供がなされた日（その日を含みます。）まで、別記「（７）利率」記載の利率による利息を付するものとします。

（９）【償還期限及び償還の方法】

本投資法人債の元金は、2028年３月８日（以下「償還期日」といいます。）にその総額を償還します。本投資法人債の償還金額は、各投資法人債の金額100円につき金100円とします。本投資法人債を償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げます。本投資法人による本投資法人債の買入消却は、払込期日の翌日以降、別記「（１８）振替機関に関する事項」記載の振替機関が別途定める場合を除き、いつでもこれを行うことができます。

（１０）【募集の方法】

一般募集

（１１）【申込証拠金】

各投資法人債の金額100円につき金100円とし、払込期日に払込金に振替充当します。申込証拠金には利息をつけません。

（１２）【申込期間】

2023年３月１日

（１３）【申込取扱場所】

別記「（１６）引受け等の概要」記載の引受人の本店及び国内各支店

（１４）【払込期日】

2023年３月８日

（１５）【払込取扱場所】

該当事項はありません。

(1 6) 【引受け等の概要】

本投資法人債の引受け等の概要は以下のとおりです。

引受人の氏名又は名称	住所	引受金額 (百万円)	引受けの条件
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目 3 番 1 号	3,000	1 引受人は、本投資法人債の全額につき買取引受を行います。 2 本投資法人債の引受手数料は各投資法人債の金額100円につき金40銭とします。
計	-	3,000	-

(1 7) 【投資法人債管理者又は投資法人債の管理会社】

該当事項はありません。

(1 8) 【振替機関に関する事項】

株式会社証券保管振替機構
東京都中央区日本橋兜町 7 番 1 号

(1 9) 【投資法人の登録年月日及び登録番号】

登録年月日 2010年 6 月30日
登録番号 関東財務局長第71号

(2 0) 【手取金の使途】

本投資法人債の払込金額3,000百万円から発行諸費用の概算額19百万円を控除した差引手取概算額2,981百万円については、2023年 3 月15日に、1,000百万円を2023年 4 月 4 日付で返済期限が到来する借入金（借入総額2,000百万円）の一部期限前返済資金に、999百万円を2023年 7 月14日付で返済期限が到来する借入金（借入総額999百万円）の期限前返済資金に、残額を2023年 9 月29日付で返済期限が到来する借入金（借入総額1,800百万円）の一部期限前返済資金の一部に充当する予定です。

(2 1) 【その他】

1．投資法人債管理者の不設置

本投資法人債は、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号。その後の改正を含み、以下「投信法」といいます。）第139条の 8 ただし書の要件を充たすものであり、本投資法人債の管理を行う投資法人債管理者は設置されていません。

2．財務代理人、発行代理人及び支払代理人

- (1) 本投資法人は、株式会社三菱ＵＦＪ銀行（以下「財務代理人」といいます。）との間に2023年 3 月 1 日付のコンフォリア・レジデンシャル投資法人第12回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）財務代理契約を締結し、本投資法人債に関する別記「（ 1 8 ）振替機関に関する事項」記載の振替機関が定める業務規程に基づく発行代理人及び支払代理人の業務を財務代理人に委託します。
- (2) 財務代理人は、本投資法人債に関して、本投資法人債権者に対していかなる義務又は責任も負わず、また、本投資法人債権者との間にいかなる代理関係又は信託関係も有していません。
- (3) 本投資法人が財務代理人を変更する場合には、その旨を公告します。
- (4) 本投資法人債に関して本投資法人債権者が財務代理人に請求等を行う場合には、財務代理人の本店に対してこれを行うものとします。

3．担保及び保証の有無

本投資法人債には担保及び保証は付されておらず、また本投資法人債のために特に留保されている資産はありません。

4．財務上の特約

（1）担保提供制限

本投資法人は、本投資法人債発行後、本投資法人債の未償還残高が存する限り、本投資法人が国内で既に発行した、又は国内で今後発行する他の無担保投資法人債（ただし、下記に定める担付切換条項が特約されている無担保投資法人債を除きます。）のために投信法及び担保付社債信託法（明治38年法律第52号。その後の改正を含み、以下「担保付社債信託法」といいます。）に基づき担保権を設定する場合は、本投資法人債のために同順位の担保権を設定しなければなりません。なお、上記ただし書における担付切換条項とは、利益維持条項等本投資法人の財務指標に一定の事由が生じた場合に期限の利益を喪失する旨の特約を解除するために担保権を設定する旨の特約、又は本投資法人が自らいつでも担保権を設定することができる旨の特約をいいます。

- （2）本投資法人が前記（1）により本投資法人債のために担保権を設定する場合は、本投資法人は、直ちに登記その他必要な手続を完了し、かつ、その旨を担保付社債信託法第41条第4項の規定に準じて公告するものとします。

5．期限の利益喪失に関する特約

- （1）本投資法人は、次の各場合には、本投資法人債権者からの、社債等振替法第115条で準用する第86条第3項本文に定める書面を添付した書面による請求を財務代理人が受けた日から5銀行営業日を経過した日に、請求を受けた各投資法人債について期限の利益を喪失します。ただし、財務代理人が当該請求を受けた日から5銀行営業日以内に当該事由が補正又は治癒された場合は、この限りではありません。

本投資法人が別記「（9）償還期限及び償還の方法」の規定に違背し、5銀行営業日以内に本投資法人がその履行をしないとき。

本投資法人が別記「（8）利払日及び利息支払の方法」の規定に違背し、10銀行営業日以内に本投資法人がその履行をしないとき。

本投資法人が別記「（21）その他 4．財務上の特約 （1）担保提供制限」の規定に違背したとき。

本投資法人が本投資法人債以外の投資法人債（債務の支払が、当該債務を被担保債務とする担保権が設定された資産のみを引当てとして行われ、その支払の引当てが借入人である本投資法人の有する他の資産に及ばない旨の特約が付された投資法人債を除きます。）について期限の利益を喪失し、又は期限が到来してもその弁済をすることができないとき。

本投資法人が投資法人債を除く借入金債務（債務の支払が、当該債務を被担保債務とする担保権が設定された資産のみを引当てとして行われ、その支払の引当てが借入人である本投資法人の有する他の資産に及ばない旨の特約が付された借入金債務を除きます。）について期限の利益を喪失し若しくは期限が到来してもその弁済をすることができないとき、又は本投資法人以外の者の発行する社債、投資法人債若しくはその他の借入金債務に対して本投資法人が行った保証債務（保証債務の支払が、当該債務を被担保債務とする担保権が設定された資産のみを引当てとして行われ、その支払の引当てが保証人である本投資法人の有する他の資産に及ばない旨の特約が付された保証債務を除きます。）について履行義務が発生したにもかかわらず、その履行をすることができないとき。ただし、当該借入金債務及び当該保証債務の合計額（外貨建ての場合はその邦貨換算後）が10億円を超えない場合は、この限りではありません。

- （2）本投資法人は、次に掲げる事由のいずれかが発生した場合には、本投資法人債権者からの請求の有無にかかわらず、本投資法人債総額について直ちに期限の利益を喪失します。

本投資法人が破産手続開始、民事再生手続開始若しくはその他適用ある倒産手続開始の申立をし、又は投資主総会において解散（合併の場合を除きます。）の決議を行ったとき。

本投資法人が破産手続開始、民事再生手続開始若しくはその他適用ある倒産手続開始の決定、又は特別清算開始の命令を受けたとき。

本投資法人が、投資法人としての登録を取り消されたとき。ただし、合併による場合で、合併後の投資法人が本投資法人債上の債務全額を承継する場合はこの限りではありません。

本投資法人の純資産の額が、投信法上の最低純資産額を下回り、内閣総理大臣から投信法第215条第2項に基づく通告を受けた場合で、当該通告に規定された期間内に治癒することができなかったとき。

- （3）期限の利益を喪失した本投資法人債の元利金は、直ちに支払われるものとし、償還期日又は直前の利払期日の翌日（それぞれ、その日を含みます。）から、弁済の提供がなされた日（その日を含みます。）まで、別記「（7）利率」記載の利率による利息を付するものとします。

- （4）前記（1）に基づき期限の利益を喪失した本投資法人債の元利金は、別記「（9）償還期限及び償還の方法」記載の買入消却の手続に準じて支払われるものとします。

6．本投資法人債権者に通知する場合の公告の方法

本投資法人債に関して本投資法人債権者に対し公告する場合には、法令に別段の定めがあるものを除き、本投資法人の規約所定の方法によりこれを行います。

7．投資法人債要項の変更

- (1) 本投資法人債の投資法人債要項に定められた事項（ただし、別記「（２１）その他 ２．財務代理人、発行代理人及び支払代理人（１）」、別記「（２１）その他 10．一般事務受託者」ないし別記「（２１）その他 12．資産保管会社」を除きます。）の変更は、法令に別段の定めがあるときを除き、投資法人債権者集会の決議を要するものとし、当該決議に係る裁判所の認可を必要とします。
- (2) 前記（１）の投資法人債権者集会の決議は、本投資法人債の投資法人債要項と一体をなすものとし、

8．投資法人債権者集会に関する事項

- (1) 本投資法人債及び本投資法人債と同一の種類（投信法第139条の7で準用する会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含み、以下「会社法」といいます。）第681条第1号に定める種類をいいます。）の投資法人債（以下「本種類の投資法人債」と総称します。）の投資法人債権者集会は、本投資法人がこれを招集するものとし、投資法人債権者集会の日の3週間前までに投資法人債権者集会を招集する旨及び投信法第139条の10第2項で準用する会社法第719条各号所定の事項を公告します。
- (2) 本種類の投資法人債の投資法人債権者集会は、東京都においてこれを行います。
- (3) 本種類の投資法人債の総額（償還済みの額を除きます。また、本投資法人が有する本種類の投資法人債の金額の合計額はこれに算入しません。）の10分の1以上にあたる本種類の投資法人債を有する投資法人債権者は、法令に定める手続を経たうえ、投資法人債権者集会の目的である事項及び招集の理由を記載した書面を本投資法人に提出して本種類の投資法人債権者集会の招集を請求することができます。

9．投資法人債要項の公示

本投資法人は、その本店に本投資法人債の投資法人債要項の写しを備え置き、その営業時間中、一般の閲覧に供します。

10．一般事務受託者

- (1) 本投資法人債に関する一般事務受託者

本投資法人債を引き受ける者の募集に関する事務（投信法第117条第1号関係）

S M B C 日興証券株式会社

別記「（２１）その他 ２．財務代理人、発行代理人及び支払代理人」に定める財務代理人、発行代理人及び支払代理人に委託する発行及び期中事務（投信法第117条第3号及び第6号関係）

株式会社三菱ＵＦＪ銀行

なお、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則（平成12年総理府令第129号。その後の改正を含みます。）第169条第2項第4号に規定する投資法人債権者に対する利息又は償還金の支払に関する事務は、社債等振替法及び別記「（１８）振替機関に関する事項」記載の振替機関が定める業務規程等の規定に従って支払代理人及び口座管理機関を経て処理されます。

投資法人債原簿の作成及び備置きその他の投資法人債原簿に関する事務（投信法第117条第2号関係）

株式会社三菱ＵＦＪ銀行

- (2) 本投資法人債に関する事務を除く一般事務受託者（投信法第117条第2号ないし第6号関係）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

令和アカウンティング・ホールディングス株式会社

税理士法人令和会計社

株式会社三菱ＵＦＪ銀行

三井住友信託銀行株式会社

11．資産運用会社

東急不動産リート・マネジメント株式会社

12．資産保管会社

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

第二部【参照情報】

第1【参照書類】

金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）第27条において準用する同法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

1【有価証券報告書及びその添付書類】

計算期間 第24期（自 2022年2月1日 至 2022年7月31日） 2022年10月26日関東財務局長に提出

第2【参照書類の補完情報】

参照書類である2022年10月26日付の有価証券報告書（以下「参照有価証券報告書」といいます。）に関して、参照有価証券報告書提出日以後、本発行登録追補書類提出日（2023年3月1日）現在までに補完すべき情報は、以下に記載のとおりです。

なお、参照有価証券報告書に記載されている将来に関する事項については、本発行登録追補書類提出日現在において本投資法人が判断したものです。

1．新投資口の発行

2023年1月5日及び2023年1月12日開催の役員会において、以下のとおり新投資口の発行に関する決議を行い、公募による新投資口については2023年2月1日、第三者割当による新投資口については2023年2月8日にそれぞれ払込が完了しています。

この結果、発行済投資口の総口数は736,982口となっています。

1．公募による新投資口発行（一般募集）

- （1）募集投資口数 20,000口
- （2）払込金額（発行価額） 1口当たり金270,500円
- （3）払込金額（発行価額）の総額 5,410,000,000円
- （4）発行価格（募集価格） 1口当たり金279,532円
- （5）発行価格（募集価格）の総額 5,590,640,000円
- （6）申込期間 2023年1月13日（金）
- （7）払込期日 2023年2月1日（水）
- （8）受渡期日 2023年2月2日（木）

（注1）引受人は払込金額（発行価額）で買取引受けを行い、発行価格（募集価格）で募集を行いました。

2．投資口売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

- （1）売出投資口数 1,000口
- （2）売出価格 1口当たり金279,532円
- （3）売出価額の総額 279,532,000円
- （4）申込期間 2023年1月13日（金）
- （5）受渡期日 2023年2月2日（木）

3．第三者割当による新投資口発行

- （1）募集投資口数 1,000口
- （2）払込金額（発行価額）の総額（上限） 270,500,000円
- （3）申込期間（申込期日） 2023年2月7日（火）
- （4）割当先 みずほ証券株式会社
- （5）払込期日 2023年2月8日（水）
- （6）上記（3）に記載の申込期間（申込期日）までに申込みのない投資口については、発行を打ち切るものとします（注2）。

（注2）割当先より全部につき申込みを受け、発行しております。

２．資産の取得

本投資法人は、参照有価証券報告書提出日以後、本発行登録追補書類提出日現在までの間に、以下の物件を取得しました。

不動産等の名称	特定資産の種類	所在地	取得価格 (千円) (注)	取得日
コンフォリア鷺沼三丁目	不動産	神奈川県川崎市宮前区鷺沼三丁目 13番地2	2,620,000	2022年11月25日
ニチイホーム川口	不動産信託受益権	埼玉県川口市本町二丁目11番1号	1,395,000	2023年2月1日
コンフォリア川口本町	不動産信託受益権	埼玉県川口市本町二丁目11番2号	1,082,000	2023年2月1日

(注)「取得価格」は、取得資産の取得に要する諸費用(売買媒介手数料、公租公課等)を含まない金額(売買契約書に記載された不動産又は信託受益権の売買代金の金額)を記載しています。

３．資産の譲渡

本投資法人は、参照有価証券報告書提出日以後、本発行登録追補書類提出日現在までの間に、以下の物件を譲渡しました。

不動産等の名称	特定資産の種類	所在地	譲渡価格 (千円) (注)	譲渡日
コンフォリア西大井	不動産信託受益権	神奈川県川崎市宮前区鷺沼 三丁目13番地2	1,250,000	第1回(準共有持分49% 612,500千円) : 2022年12月1日 第2回(準共有持分51% 637,500千円) : 2023年2月1日

(注)「譲渡価格」は、譲渡資産の譲渡に要する諸費用(売買媒介手数料、公租公課等)を含まない金額(売買契約書に記載された不動産又は信託受益権の売買代金の金額)を記載しています。

４．資金の借入れ

本投資法人は、前記「２．資産の取得」に記載の不動産の取得資金及び関連する諸費用の一部、並びに既存借入金の返済資金に充当するため、以下の資金の借入れを実行しました。

A 長期借入金（期間：8年、固定金利）

借入先：株式会社日本政策投資銀行、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行

借入金額：2,600百万円

利率：0.92600%

借入日：2022年11月25日

借入方法：上記借入先との間で2022年11月22日付締結の金銭消費貸借契約に基づく借入れ

利払日：2022年12月30日を初回とし、以降毎月末日及び元本返済期日

(各該当日が営業日以外の場合はその前営業日)

元本返済方法：元本返済期日に一括弁済

元本返済期日：2030年11月25日

(同日が営業日以外の場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合はその前営業日)

担保等の有無：無担保・無保証

B 長期借入金（期間：9年、固定金利）

借入先：株式会社日本政策投資銀行、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行

借入金額：3,410百万円

利率：1.36625%

借入日：2023年1月31日

借入方法：上記借入先との間で2023年1月27日付締結の金銭消費貸借契約に基づく借入れ

利払日：2023年2月28日を初回とし、以降毎月末日及び元本返済期日

(各該当日が営業日以外の場合はその前営業日)

元本返済方法：元本返済期日に一括弁済

元本返済期日：2032年1月31日

(同日が営業日以外の場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合はその前営業日)

担保等の有無　：　無担保・無保証

５．極度ローン基本契約の締結

本投資法人は、参照有価証券報告書提出日以後、本発行登録追補書類提出日現在までの間に、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱ＵＦＪ銀行及び株式会社三井住友銀行との間で極度設定額の合計が90億円となる極度ローン（アンコミットメントベース）に係る基本契約を2023年２月７日付で締結しています。

契約締結先	契約期間	借入極度設定額 合計	返済期日	返済方法	使途	担保
株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社三菱ＵＦＪ銀行 株式会社三井住友銀行	2023年２月９日 から 2024年２月８日	90億円	借入実行日 より １年未満	期限一括返済	新規物件取得、既存借 入金の返済、投資法人 債の償還及びこれらに 関連する諸費用	無担保 無保証

第３【参照書類を縦覧に供している場所】

コンフォリア・レジデンシャル投資法人　本店
（東京都渋谷区道玄坂一丁目21番１号）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町２番１号）